

BIOSでCSM（Compatibility Support Module）を有効に

BIOSでCSM（Compatibility Support Module）を有効にできない場合、いくつかの原因と対処法が考えられます。CSMは、UEFIファームウェアが従来のBIOS環境をエミュレートするための機能です。Windows 11など、UEFIのみをサポートするOSでは、CSMを無効にする必要がある場合があります。

原因と対処法:

1. セキュアブートとの競合:

- ・ CSMとセキュアブートは同時に有効にできない場合があります。
- ・ CSMを有効にするには、セキュアブートを無効にする必要があるかもしれません。
- ・ BIOS設定で、セキュアブートを無効にし、CSMを有効にしてみてください。

2. BIOS設定の誤り:

- ・ BIOS設定画面で、CSMの設定項目が正しく選択されているか確認してください。
- ・ 項目が見つからない場合は、マザーボードのマニュアルを参照してください。

3. マザーボードの互換性:

- ・ 一部のマザーボードは、CSMをサポートしていない場合があります。
- ・ マザーボードの仕様を確認し、CSMのサポート状況を調べてください。

4. OSの要件:

- ・ Windows 11など、UEFIのみをサポートするOSでは、CSMを無効にする必要があります。

具体的な手順（例）:

- ・ BIOS画面を起動します（通常は電源投入時にDelete, F2, Escキーなどを押す）。
- ・ 「CSM」または「Compatibility Support Module」を探し、設定を「Enabled」または「Disabled」に変更します。
- ・ 「Secure Boot」を探し、設定を「Disabled」に変更します。
- ・ 設定を保存し、BIOSを終了します。
- ・ 再起動して、問題が解決するか確認します。

注意点:

- ・ BIOSの設定は、マザーボードによって異なります。必ずマザーボードのマニュアルを参照してください。
- ・ 設定を誤ると、システムが起動しなくなる可能性があります。慎重に操作してください。

上記の方法で解決しない場合は、マザーボードのメーカーに問い合わせることをお勧めします。